



▲八軒中学校・高砂小学校での「はぐくみ教室」、高砂中学校の「はぐくみ教室」「ステーション」の取り組みを視察
はぐくみ教室は、平成19年度よりLD・ADHD等の児童生徒を対象とした通級指導教室です。令和3年度現在、小学校12校に17教室、中学校5校に8教室に設置されています。ステーションは、生徒がさまざまな課題を抱え、多様な課題を抱えている中、なかなか学校に来れない子どもたちへこれまでの「別室」ではなく子どもたちの「居場所」として昨年度から5校設置されています。(今年度10校に拡充)共通するのは、担当の先生方が生徒の目線に立つて本気でぶつかっていること。数字的に見れば、不登校は増えているし、課題を抱えた児童生徒は増えています。その中でも、「子どもたちのために！」と全力で向き合っている先生方、管理職の理解が深いことに希望が持てました。



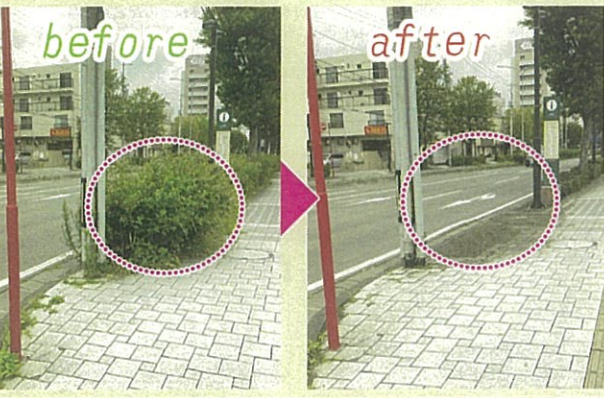
▲国見小学校のハッピールームの取組を視察
国見小学校では、特別支援コーディネーターを専任化し、別室の担当教諭とし配置、支援を必要とする児童一人一人に応じた活動に取り組んでいます。学校ごとに課題が異なりますので他の学校と同様の取組を行うのは難しい面もありますが、こうした先進的な国見小学校の取組を広く紹介していきたいと思っています。



▲母校、仙台高等学校の発祥の地の清掃活動
同窓会の皆さんと母校「仙台高等学校発祥の地」記念碑清掃へ。昭和15年(1940年)、仙台高校の前身である市立仙台中学校が市政50周年を期に、現在の国際センター付近の大橋脇で開校しました。今から20年前の高校時代の苦勞と共に、先輩たちへの感謝を忘れずに日々頑張ってくださいたいと思います。

《新寺2丁目の歩道植栽が実現しました！》

若林区新寺2丁目の方から、「新寺通りに出る際に、歩道の植木が伸びきっており見通し悪く危険だ。」と連絡がありました。早速、区の公園課に連絡したところ、すぐに現地を見てもらい、危険性を認識していただきました。7月2日に一番手前の植栽を根本から切ってもらい、翌7月5日の週に新寺通りの植栽を剪定しました。新寺通りは交通量も多く、スピードを出す車が多かったため、大きな事故になる前に現地を確認し、対処していただきました。根上りの問題等は他地域でもあり、引き続き地域の課題に取り組んでまいります。いつでもご相談ください！



現在進行中！



仙台市環境局今泉工場すぐそばにある、市民の皆様が使う橋が冠水する被害が出ているとご相談をいただきました。すぐそばを流れる雨水幹線の植栽も伸びており、撤去についても市職員に要望しました。現場は付近で名取川が流れており、大雨のたびに冠水してしまいます。地域の皆様の命と安全を守る対策を最優先に引き続き取り組んでまいります。



仙台市議会議員

猪又 Start

いのまた たかひろ

隆広

第8号

発行：猪又隆広事務所

〒984-0816
仙台市若林区河原町1丁目2-52
TEL.022-216-3351
FAX.022-216-3352
https://inotaka.info

inotaka35office/
@inotaka0924

4年の任期の折り返し！目の前のコロナ対策とコロナ後の仙台のまちづくりを！



仙台市議会議員 猪又 隆広

御挨拶

仙台市議会令和3年度第3回定例会(9月)が開会しました。前定例会では、新型コロナウイルスワクチン接種や時短要請等関連事業者支援金、困難を抱えた女性に対する生理用品の配布などが当局から提案され、すべての議案が成立しました。思い返せば、この1年間コロナ一色の議会運営だったと思います。

新型コロナウイルスもイギリス型のアルファ株からインド型のデルタ株に置き換わり、地域・学校・経済様々な分野で大きな影響が出ています。私は目の前の課題はもちろん大切ですが、起こらないかもしれないことへの想定、もしくは自身が起こってしまったあとに同じことを繰り返さないためにはどうするのかということも様々な視点から考えていかねばなりません。

8月28日で4年の任期の折り返しとなりました。このコロナ禍からこそ、目の届かないところで苦しんでいる方が多くいらっしゃいますが、引き続き地域を歩き、市民の皆様からいただく声に耳を傾け、課題解決に注力してまいります。

市政あれこれ：新型コロナウイルス感染症対策(9月20日現在)

売上が大きく減少した事業者向け支援制度について

- ◎第2次時短要請等関連事業者支援金(関連事業者向け)
申請期限は、9月30日(木) 締切間近！※詳細は市HPでお知らせします。
- ①(中小企業)市内に本店の登記を行っていること
(その他法人)市内に主たる事務所の登記を行っていること
(個人事業主)市内に住居登録があること又は市内に施設を所有・賃借し、当該施設で事業を行っていること
 - ②令和3年5月以前から事業を行っており、今後も事業を継続する意思があること
 - ③次のいずれかの影響により、令和3年5月から令和3年8月までのいずれかひと月の売上が前々年(令和元年)又は前年(令和2年)同月比で30%以上減少していること
 - 1)宮城県による営業時間短縮の協力要請による影響を受けた関連事業者
 - 2)国のGoToキャンペーン停止による影響を受けた事業者
 - 3)宮城県・仙台市による独自の緊急事態宣言による影響を受けた事業者
- ※時短要請等関連事業者支援金(令和3年6月30日締切)で、5月を対象月として交付決定を受けている方は、本制度(第2次時短要請等関連事業者支援金)で5月を対象月として選ぶことはできません。なお、5月を対象月として、すでに申請いただいている事業者の方は、個別にご連絡いたします。
- ※国の月次支援金や県の時短要請等関連事業者支援金の支給を受けた方も申請可能です。

仙台市の支援金		
	減少率	減少率
	50%以上	30%以上 50%未満
法人	最大 15万円	最大 10万円
個人事業主	最大 7.5万円	最大 5万円

宮城県による営業時間短縮の協力要請(第6期)の対象事業者の給付額			
対象月の売上減少額		法人	個人事業主
150万円以上 300万円未満		10万円	5万円
300万円以上 400万円未満		25万円	12.5万円
400万円以上 500万円未満		30万円	15万円
500万円以上 600万円未満		35万円	17.5万円
600万円以上 700万円未満		40万円	20万円
700万円以上 800万円未満		45万円	22.5万円
800万円以上 900万円未満		50万円	25万円
900万円以上 1,000万円未満		55万円	27.5万円
1,000万円以上		60万円	30万円

お問い合わせ先 時短要請関連事業者支援金事務局 【受付時間】
TEL.022-263-8833 平日9:00~17:00

猪又たかひろ事務所案内

みなさまのお困りごとありませんか？
お気軽にご相談ください！

事務所へのアクセスは
〒984-0816 仙台市若林区河原町1-2-52
TEL.022-216-3351 / FAX.022-216-3352



【新型コロナ】経済・生活面の相談窓口

◇心の相談窓口
・仙台市在住者 022-265-2229
・仙台市以外 0229-23-0302
◇差別や誹謗中傷被害 090-1552-1477
◇出産・妊婦生活の不安 090-1060-2232
(※月、水、金曜午後1~7時)

新型コロナワクチンのコールセンター

◇仙台市 0570-05-5670
(英語、中国語、韓国語、ベトナム語、ネパール語にも対応)

◇大規模接種会場 0570-00-3503
(全市町村対象)

①「子どもの意見表明と教育の諸課題」

Q: 意見表明権のことを一般的に「アドボカシー」といい、アドボカシーとは自身の意見を言うことが難しい人の代わりに意見を代弁し権利を守ることであり、中でも子ども支援に特化した活動を、「子どもアドボカシー」と呼ぶ。様々な理由によって自身の意見を表明するのが難しい、高齢者、障害者、子どもが自身の思いを示せるように支援し、その権利を代わりに主張する人を「アドボケイト」と呼んでいます。子どもの意見表明に係る準備状況とアドボケイトの養成について伺う。

A: 国の「子ども権利擁護対応ガイドンス」では、子どもの権利擁護の部会の設置、意見表明支援員の配置、子どもからの意見表明の申出等があった場合の進め方等が示されている。このガイドラインを踏まえて、今年度、宮城県と共同で検討している児童養護施設への意見表明支援員の派遣を通じ、スキルを持った支援員の確保など子どもの権利が守られる仕組みを整備していく。



(子供未来局長)

Q: 県では一ヶ月に1度程度、弁護士資格を持つアドボケイトが児童相談所に訪問しており、子どもたちの声に耳を傾けているが、一時保護所へのアドボケイトの派遣について伺う。

A: 児童相談所の一時保護には、虐待や教育困難など様々な理由により家庭での生活が困難になった児童が入所する。そこから施設入所や里親委託につながる児童もあり、その社会的養護の入り口にあたる一時保護所での児童のアドボケイトは重要なものと考えている。国の検討状況も視野に入れながら、一時保護所に保護されている児童も含めた、措置された子どもの意見表明の仕組みづくりを検討していく。

(子供未来局長)

Q: 境界知能の児童、生徒の特長について、知的障害はIQが69以下を指すが、境界知能はそこまではいかないもののIQ70～84の一定の支援が必要なレベルのことを指し、こういった児童が全体の14%いるといわれ、周囲の理解が重要であるが、教育局の現状認識と対応について伺う。

A: 境界知能の児童生徒につきましては、正確な数は把握しておりませんが、通常の学級に在籍する配慮を要する児童生徒数につきましては、前年度調査を行っており令和2年度の調査

では、小中学校合わせて4,150人となっている。この中には一定程度の境界知能の児童生徒も含まれているものと認識をしている。配慮を要する児童生徒への対応といたしましては特別支援教育コーディネーターを中心とした校内体制の中で個別の指導計画を作成し一人一人の特性に応じた指導を行うなどの取組を進捗しているところ。

IQ	分類
130以上	非常に高い
120～129	高い
110～119	平均の上
90～109	平均
80～89	平均の下
70～79	境界域
69以下	非常に低い

▲一般的なIQ数値

(教育長)

Q: いじめ対策に関して、いじめ防止条例や仙台いじめ等相談支援エスケートやいじめ相談室等があるが、実効性や学校現場のチェック体制はできているのか伺う。

A: 私は、いじめ対策を本市の最重要課題と位置づけましていじめ防止等に関する条例の制定やいじめ基本方針の改定といった取り組みの根幹部分となる制度を整えてきた。これらを基にいじめ専門教諭の人的な配置、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーの配置の拡充、相談体制の充実に努めるとともに学校等に相談しにくいという方々向けに、エスケートを配置しまして、第三者である弁護士さんや臨床心理の専門家の方々が相談対応を行うこととした。また、教職員の研修を充実させると共に条例の制定にあたり、私から学校長へ直接説明を行うなど学校現場の意識の浸透を図ったところ。今後も、子供たちの健やかな学びの環境作りに向けまして学校がいじめ対策に適切に取り組んで安心して過ごすことができる場となるように引き続き教育委員会とともに施策の充実をしてまいります。

(市長)



▲仙台市いじめ等相談支援室[S-KET]の案内チラシ

仙台市議会親子見学ツアーを開催

「子どもたちの長期のお休みはコロナだしなかなか遠出ができない…」。「毎日行くところが一緒…」。「家でゲームばかりしてるんです…」。「そんなお父さんお母さんたちの声に応え、〈仙台市議会親子見学ツアー〉を開催しました。仙台市議会議長との懇談の機会や議場や議会内の散策でほんの少しの社会勉強にもなっています。夏休みや春休みの長期のお休みを利用して、仙台市議会見学しませんか? 詳しくは猪又たかひろ事務所までお気軽にお問い合わせください!



猪又たかひろの議会での質問の様子をいつでも確認できます。詳細は「仙台市議会インターネット議会中継」で検索ください!

②「本市の健康課題と仙台市ヘルステック推進事業」

Q: 特定保健指導の取組で実施率 33.7%、政令市中1位の静岡市は働き盛り世代の40代50代は平日昼間の健診に出来ない方でも利用しやすいように、土日も特定保健指導に応じているが、その際対面ではなく実施者から送ってもらったタブレット端末で保健指導者からの指導を受けられる仕組みを構築し、特定保健指導の実施によって生活習慣病等の有病者の予備軍の減少、医療費の抑制もつながるが、本市における保健指導者とのオンラインによる特定保健指導を実施できるような体制が整っているか伺う。

A: 特定保健指導の該当者に対し、電話で利用動向をした際に仕事が忙しくて時間が取れない新型コロナウイルス感染症の感染が危惧される。という声をいただいている。この指導は指導者が対象者の様子を見ながら行う指導が必要であることから、こうした状況を踏まえ、オンラインでの特定保健指導の新年度からの導入に向け検討を進めてまいります。(健康福祉局長)

Q: 仙台市ヘルステック推進事業の取組とこれまでの総括、6月末に(仮称)仙台市 DX 推進計画とヘルステック推進事業の運動制、ヘルステック推進事業を通じた地元企業や人材の育成について、伺う。

A: 本事業は高齢社会を迎え生活習慣病の増加など健康課題先陣地である仙台東北から世界の健康課題を解決するイノベーションを創出することを目的に令和元年度より取り組みを開始した。初年度は地元企業20社を含む60を超える企業の皆様にご参加いただき、議論を重ねる中で多くのビジネスアイデアが生まれております。令和二年度には、東北大病院との連携をさらに強化し参加企業の皆様に最新の医療機器の開発志向や医療現場におけるニーズなどを学べる講座を開講した。こうした実績を踏まえ、今年度は、仙台ヘルステックコンソーシアムを立ち上げ参加企業の皆様に開発志向を伝える学びの場、新事業創出を考える志向の場、企業関連のマッチングや情報交換の場を提供することとしている。また地元企業の皆様にも首都圏の企業とも連携して取り組むことができる事業開発プログラムの実施を予定している。(健康福祉局長)

Q: モデル地区を設定した実証実験について、若林区の本年度新規事業には、六郷地区の健康づくり推進がある。六郷地区は他地区に比べ、幼児期の肥満や働き盛り世代の生活習慣病の割合が特に高いことから住民参加型のワークショップや健康についての啓発活動を行っているが、こういった六郷地区と事業に連動させ、ICT技術を活用した実証実験を行い匿名化したデータを解析し、地域の健康づくりに役立てるために数カ所をモデル地区とし取り組むべきと考えているが、どうなのか伺う。

A: ビジネスアイデアの事業化に向けましては、健康に関する課題を抱える地域特性を十分考慮した取組が必要であり、企業側も実証フィールドを求められている。本事業の推進にあたりましては本市が実施する健康関連の事業の中で地域の皆様のご理解を得ながら、ICTの活用を試みるなど、新事業の創出はもとより、地域課題の解決にもなるよう関係部局とも連携を図りながら企業の皆様からの事業提案を支援してまいります。(市長)

市民教育委員会での議論

八街市の事例を受けて、通学路における安全対策

▶危険箇所は地域の目標とともに、子ども・保護者目線での認識も必要。例えば、ChromebookでGoogle フォームのアンケートを活用し、保護者からの声を反映させ、認識されていない危険箇所を炙り出し共有することが重要と提言。



【八街児童5人死傷事故】

事故現場は幅約7メートルでガードレールや路側帯はない直線道路だった。現場は近くの小学生が利用する通学路であるが、「歩道がない」「交通量が多いのに信号がない」にも関わらず、市教育委員会は危険箇所と判断していなかった。2008年から小学校PTAが近隣の小学校との連名で現場の道路へガードレールを設置するよう市に要望していたが、当時の市長は有効幅員の確保のために道路の拡張が必要となり、多額の費用を要するため、非常に困難と回答。

D-Sendai デジタルでみんなワクワクスマートシティ 高齢者の方向けのスマートフォン教室の開催

仙台市は2021年6月に策定した「仙台市デジタル・トランスフォーメーション(DX)推進計画」の施策項目の一つに、「誰にも優しいデジタル化」を掲げており、広く市民の方々にデジタルに親しんでいただくと共に、デジタル化の恩恵を感じることができるよう、様々な取り組みを進めております。この取り組みの一環として、高齢者の方などを対象に、デジタル機器やサービスにより親しんでもらうために、仙台市はNTTドコモ東北支社と連携し、市内各所のドコモショップでスマートフォン教室を開催いたします。仙台市とNTTドコモはDX推進に向けた事業連携に関する覚書を締結しており、この覚書に基づく事業として行います。

【内容】

- ①体験編 (まだスマートフォンをお持ちでない方向け)
 - ②入門編 (電話のかけ方、メールの使い方、文字入力の方法等)
 - ③基本編 (カメラの使い方、インターネットの楽しみ方等)
 - ④応用編 (アプリの楽しみ方等)
 - ⑤活用編 (動画の楽しみ方等)
- ※所要時間 各60分 ※①～⑤の内、一部の有料講座を除く
※お使いの携帯電話会社に関わらず、ご参加いただけます。



■対象店舗【若林区内】

■ドコモショップ宮城の萩大通り店

住所: 若林区遠見塚2-2-21
定休日: 第2火曜

■ドコモショップ仙台六丁の目店

住所: 若林区伊在1-12-8
定休日: 第2火曜

■対象店舗【仙台駅前】

■ドコモショップAER店

住所: 青葉区中央1-3-1 AER1階
定休日: 無休

■ドコモショップ仙台ロフト店

住所: 青葉区中央1-10-10 仙台ロフト4階
定休日: 無休

Check! 石巻市の取り組みを参考にして

子どもの権利を柱に、子ども参加で運営される児童館「石巻市子どもセンター・らいつ」に調査のためお邪魔しました。石巻市は「子どもの権利に関する条例」ができ、10年以上が経過しています。自然と子どもの在り方を、権利として取り入れています。石巻市子どもセンターは、「子どもセンター運営会議」「子ども会議」「子ども企画」「子どもまちづくりクラブ」「子どもエンパワー事業」と子どもが主体で運営からルール作りまで大人と一緒にアイデアを出し合っている様子です。ちなみに0～18歳未満の子どもの自由で遊ぶことができる児童館という位置づけになっています。学校が違う同い年の子、お兄ちゃんお姉ちゃん、ちっちゃい子。名前はお知らないけど、自然に遊んで、ケンカして、仲直りして、自分の悩みを話せて、そして自然と自分の居場所を遊び場の中に感じているようでした。

